報告日 令和5年7月4日 報告回次 1日日

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	宮代町			代表者名	新井 康之
担当者部署	企画財政課		連絡先電話番号	0480-34-1111(219)	
担当者役職	主事	担当者氏名	倉若 美鈴樹	連絡先E-mail	
住所	345-8504 埼玉県宮付	大町笠原1-4-1	•	•	

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	宮﨑 昌美	
評価	大変よい	
	業務におけるDXの考え方や推進の手法について、 授いただき、これから本格的にDXを推進していく	実際に自治体でDX推進に取り組まれた宮﨑様の経験を交えて具体的にご教宮代町にとって大変参考になりました。
アドバイザー への要望事項	特になし	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1.	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	期日・支援内容の変更あり		
対応日・時間	令和5年7月3日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
			9時30分	12時00分	
				活動時間(分)	150
3-2.	会場名	コミュニティセンター進修館		最寄駅	東武動物公園駅
派遣場所	所在地	〒345-0822 埼玉県南埼玉郡宮代町笠原1-1-1		最寄駅からの交通手段	徒歩5分

4.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

○掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-casegood practices/past year all houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数	
	職員	49	人

5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 DXの趣旨や必要性については理解しているものの、実際の業務にどの様に落とし込んでいくのかという情報・ノウハウが不足している。

(具体的にご記入下さい)	いう情報・ノウハウが不足している。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	宮代町におけるDXの具体的イメージを把握し、職員が一丸となってDX推進に具体的に取り組んでいくこと。
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	DXの知識の習得や、政策・施策をDX化するためのポイント等を掴むことを目的として、庁内職員に向けてご講演いただいた。

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)

事業の課題・問題点

自治体での実体験を基にした詳細な解説と、町の実情に即した施策例の提案により、DXのポイントや推進手法について職員間でイメージを共有できた。

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない		
改善又は解決されなかった内容	特になし		
持ち越しとなった内容			
(具体的にご記入ください)			
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。		
	アンケート実施なし。 今回は、アドバイザーの方の公務員としての経験談等を共有いただくことを目的としていたため、ア ンケートは実施しなかった。		
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい ②次年度に予算化を図り推進する		
事業の最終的な目指す姿	どう業務に落とし込んでいくのかについて等DX化の知識があり、町が一丸となってDX推進に具体的に取り組んでいくこと。		

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



